

2022年 CDP水セキュリティ質問書

導入編

2022年4月



本ウェビナーの内容

- ▼ CDPの概要
- ▼ 水セキュリティ回答要請の選定基準
- ▼ 水セキュリティ質問書に回答する意義
- ▼ 水セキュリティ質問書の概要と設問間の関係性
- ▼ 2021年からの変更点の概要
- ▼ CDP回答提出に向けて
- ▼ Aリスト基準
- ▼ 用語の定義
- ▼ リンク集



CDPの概要



- ▼ CDPは、2000年に英国で設立された**国際環境NGO**。CDP Worldwide-Japanは、日本法人として日本における取組を促進。
- ▼ 世界中の**機関投資家・購買企業**の要請を受けて、企業の**環境情報開示**を促進する活動を実施。
- ▼ ESG情報開示の「E」に関する**グローバルスタンダード**。2021年度は13,000社を超える企業がCDPに情報を開示。
- ▼ 世界中の機関投資家はCDPデータを**意思決定**に活用。
- ▼ **都市・地域**の情報開示も促進しており、2021年度は1,100以上の都市・州・地域がCDPに情報を開示。



CDPに回答するメリット

- ▼ 世界中の機関投資家・購買企業・イニシアチブの環境情報開示要請に同時に応えることができる
- ▼ TCFDに沿った情報開示が可能
- ▼ リスクと機会を把握する
- ▼ 目標・取組の進捗状況を把握する
- ▼ 企業の評判を守り、高める
- ▼ 企業競争力の向上
- ▼ 政策に先立って対応する



水セキュリティ質問書に回答する意義



- ▼ 世界の水需要が増加している一方で、気候変動による干ばつの影響等により供給が減少傾向にあり、2030年までに世界の水供給は56%不足する見込み。
- ▼ 水リスクの財務への潜在的な影響は3360億米ドルに上る。行動を起こさない場合のコストは、行動を起こした場合のコストの5倍。
- ▼ 2020年にCDPに報告された水関連のビジネス機会の総額は7110億米ドル。
- ▼ CDP水セキュリティ質問書に回答し、水リスクとその影響を認識することで、水管理への理解を深めることができ、サプライチェーンのレジリエンス向上が可能。



“水のリスク”とは

水不足

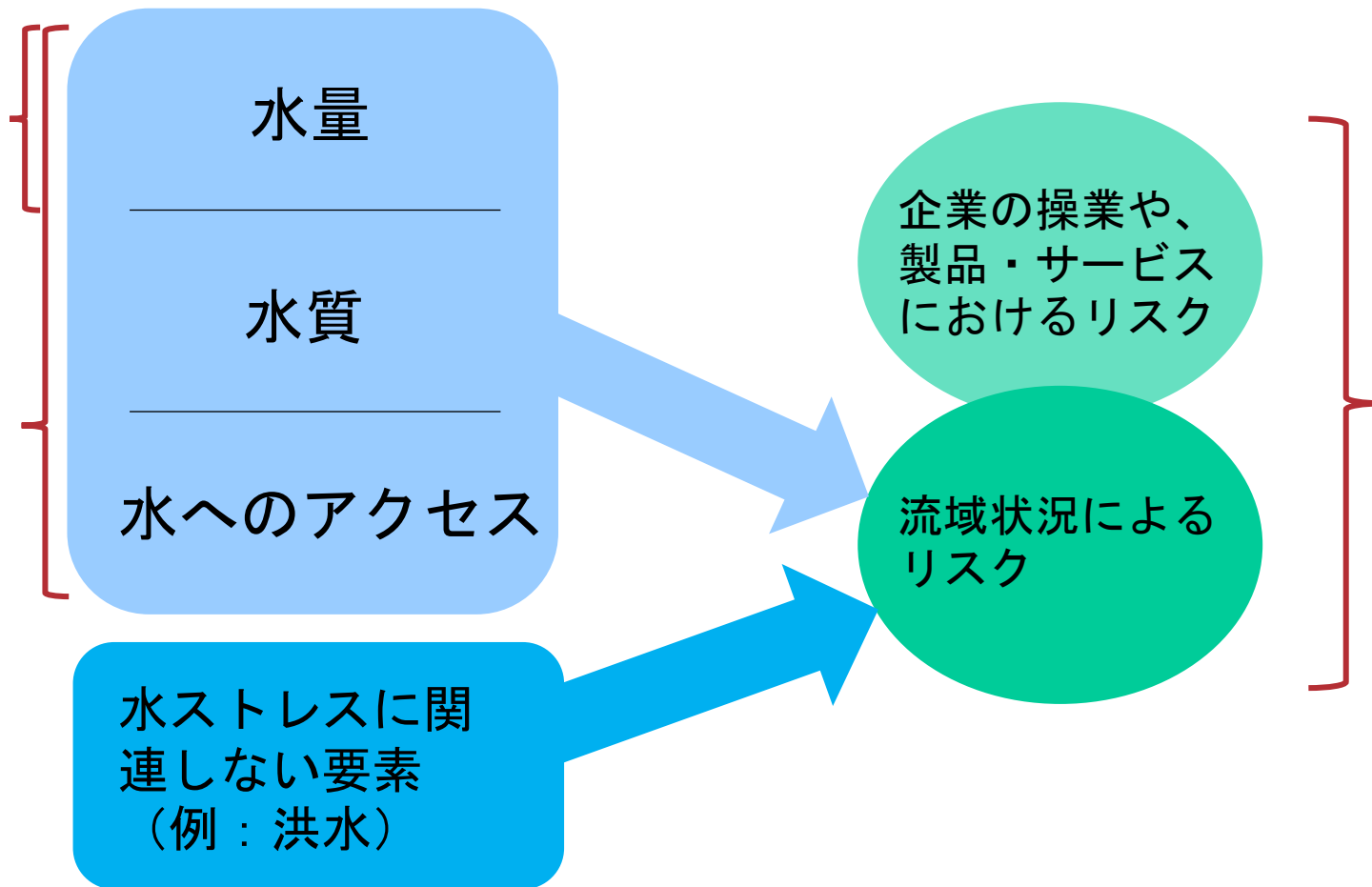
Water scarcity

需要に対して水量が
足りていない

水ストレス

Water stress

必要な量・質の水
が手に入らない



水セキュリティ回答要請の選定基準



▼ 水セキュリティに関する影響の有無

当該産業活動に関連するバリューチェーン(①操業の直接的影響 (direct operations), ②サプライチェーン、③製品使用、の3段階で構成される)の各段階において、水セキュリティに有害な影響を与える、及び/又は、影響を受ける可能性があるか。

▼ 水セキュリティに与える影響の大きさ

当該産業活動に関連する水セキュリティへの/からの潜在的影響はどの程度大きいのか。
(参考:[CDP Water Watch](#))

▼ 収益の閾値

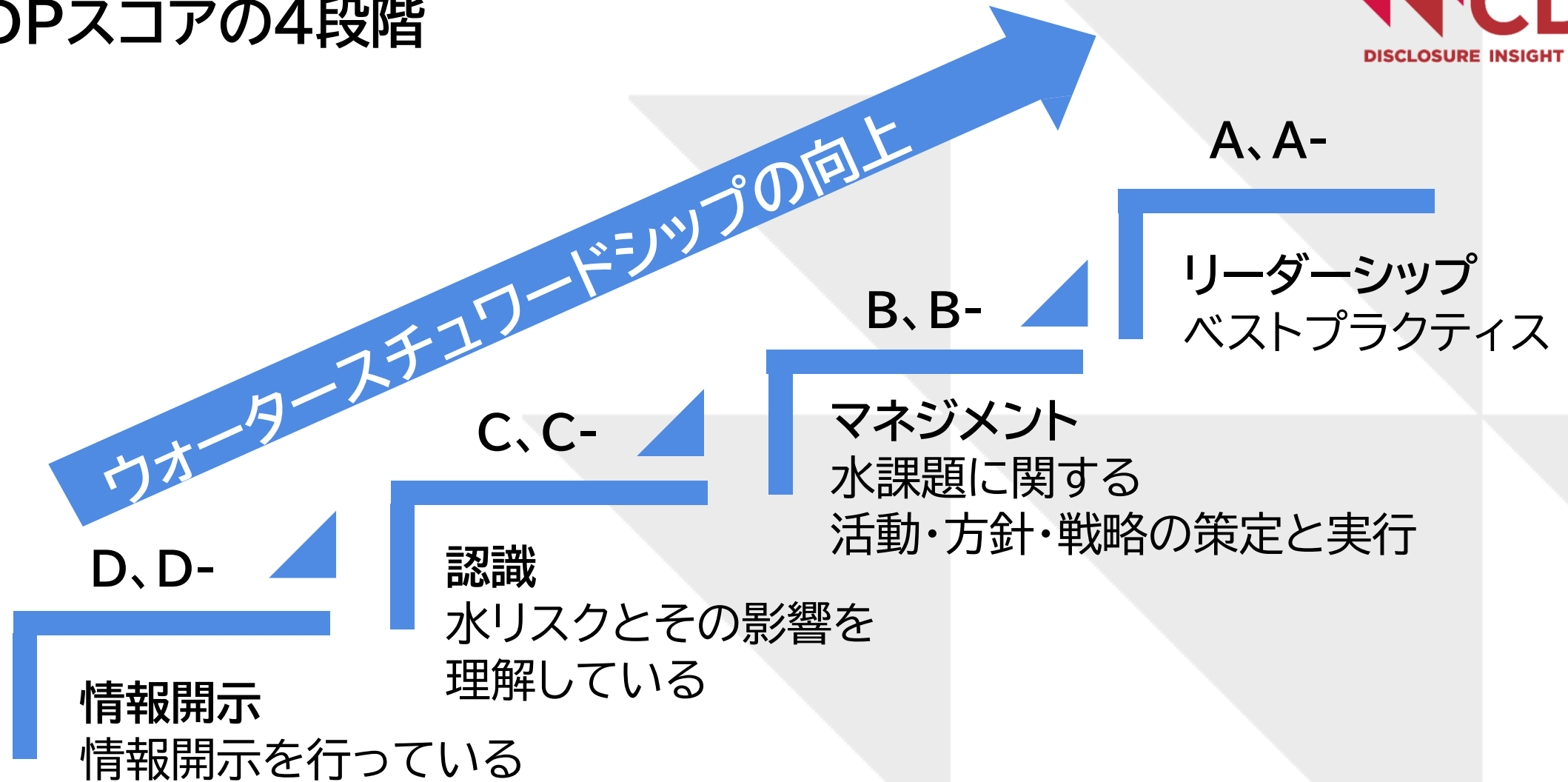
当該産業活動に関連する企業収益はどの程度大きいのか。

▼ アパレル業界でも水への影響が高い企業かどうか

アパレル業界の時価総額上位100社と、水への影響度が高いその他の大手アパレル企業が含まれる。
アパレル及び繊維関係のバリューチェーン全体でウォーター・スチュワードシップを向上させるためのイニシアチブ
(スイス開発協力庁(SDC)が資金提供)が基となっている。



CDPスコアの4段階



無回答企業のスコアはF



CDP水セキュリティ質問書:セクター

	セクター
エネルギー	電力事業(EU) 石油・天然ガス(OG)
輸送	—
素材	化学(CH) 金属・鉱業(MM)
金融	—
農業	食品・飲料・タバコ(FBT)
一般	セクター別質問書に 該当しない全ての企業

- ▶ 水への影響が大きいセクターの企業にはセクター別の設問が表示されます。
- ▶ 回答企業には、CDPの活動分類システム(CDP-ACS)に基づいてセクターが割り振られています。
- ▶ セクターを選択する際には、貴社に割り振られたセクターを含めてください。
- ▶ 回答するセクターによって回答する設問が異なるため、設問が貴社に当てはまらない場合には、質問番号が連続しない場合があります。



水セキュリティ質問のベースとなっている枠組み

▼ 持続可能な開発目標(SDGs)

目標 6:安全な水とトイレを世界中に、目標 12: つくる責任 つかう責任 等

▼ CEO water mandate

水の持続可能性に関する方針と実践について、企業の発展、実践、情報開示を支援する官民イニシアチブ

CDPとのかかわり

モジュールの構造はCEOウォーターマンデート・ガイドラインの構成に概ねしたがっており、企業がウォータースチュワードシップの道程をたどり、投資家に関連データを提供します。

主にガバナンスの部分でこのガイダンスの中で、「水のマネジメントとガバナンス」分野に関連し、CEOウォーターマンデートに参加している企業はマンデートの6つのコアエレメントを使用して、自分たちの行動を構成し、説明することが推奨されています。

▼ GRI スタンドード

303-4: 排水(clause 2.4.2)



CDP水セキュリティ質問書:構成

	2022モジュール	主な内容
一般の設問	W0 イントロダクション	会社概要、報告年、通貨、バウンダリ
	W1 現状	水への依存度、水のアカウンティング(水のモニタリングの割合、取水量・排水量・消費量の合計値、水ストレスの大きい水域での取水量、リサイクル・再生水の割合)、バリューチェーンでの協働
	W2 事業への影響	報告年における水による事業への影響、水規制違反により受けた罰則
	W3 手順	水リスクの評価方法の手順・考慮される要素
	W4 リスクと機会	水リスクのある施設数・内容等、水関連リスクと対応、水によりもたらされる機会
	W5 施設レベルの水会計	施設レベルの水に関するデータ
	W6 ガバナンス	水関連方針、マネジメントの責任、政策への関与
	W7 事業戦略	事業計画、設備投資費/操業費、シナリオ分析、ウォータープライシング
	W8 目標	水関連目標と達成に向けた進捗
	W9 検証	水情報に関する外部検証
	W10 最終承認	回答承認者の情報



CDP水セキュリティ質問書:W0 インTRODクシヨン

W0.1

企業概要

W0.2

報告年の開始日と終了日

W0.3

データを提供する国／地域

W0.4

通貨

W0.5

報告対象とする会社、事業体、グループの報告範囲(バウンダリ)

W0.6

バウンダリの除外



CDP水セキュリティ質問書:W1 現状

W1. 1

貴社事業の成功には、水質と水量はどの程度重要ですか。
現在および将来の重要度をお答えください。

W1. 2

以下の項目に関して、貴社の事業全体でどの程度の割合を
定期的に測定・モニタリングしていますか。

水源別取水量、取水の質、総排水量、放流先別排水量、処理方法別排水量、
排水の質、水消費量、再利用水 等

W1. 2d

水ストレス下にある地域から取水しているか否かを示し、
その割合を記入してください。

W1. 3

貴社の総取水量の効率を示す数値を記入してください。

W1. 4

水関連問題のために、貴社のバリューチェーンとエンゲージメントしていますか。



CDP水セキュリティ質問書:W2 事業への影響

W2. 1

貴社はこれまでに、水関連の有害な影響を被ったことはありますか。

W2. 2

貴社は報告年に、水関連の規制違反を理由として罰金、法的命令、その他のペナルティを科されましたか。



CDP水セキュリティ質問書:W3 手順

W3.3

貴社では水関連のリスクの評価を実施していますか。

W3.3a

水関連のリスクの特定と評価の手続きの詳細

- 貴社の水関連のリスク評価で考慮されるステークホルダーを選択
- 水関連リスク評価で考慮される項目を選択
河川流域／集水域における水の利用可能性と水質、河川流域／集水域における水資源に
関連したステークホルダー間の対立、水関連の規制枠組み、生態系及び動植物生息環境の状況 等

W3.3d

自社オペレーションやバリューチェーンにおける
水関連リスクの特定、評価、リスク対処のプロセス



CDP水セキュリティ質問書:W4 リスクと機会

W4.1

財務または戦略面で影響を及ぼす可能性のある
水関連リスクの特定をしたことがあるか

W4.1c

水関連リスクにさらされている施設の数とその割合、
事業への潜在的影響の詳細

W4.2a

特定されたリスクとその対応についての詳細

W4.3

財務または戦略面で影響を及ぼす可能性のある
水関連機会の特定をしたことがあるか

W4.3a

特定された機会の詳細



CDP水セキュリティ質問書:W5 施設レベルの会計



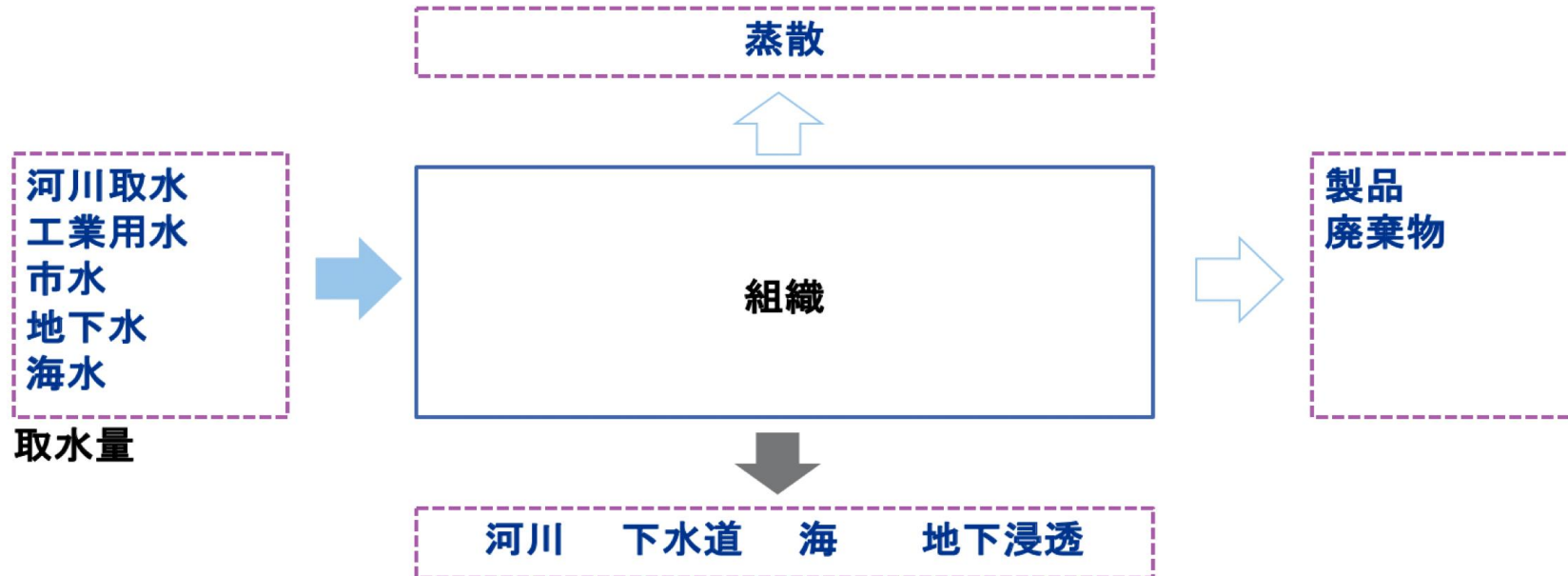
W5. 1

W4.1cで挙げた各施設について地理座標、水会計データ、
前報告年との比較を回答



「取水量」と「水消費量」: 計算方法

▼ 現実的に「水消費量」をどのように計算すべきか？



水消費量 = 使用され、元の取水源に戻されない水の量
= 蒸散量 + 製品や廃棄物に含まれる水の量 + 取水した水源以外への排水量
= 取水量 - 取水した水源への排水量

水会計に関するテクニカルノートについては下記よりご覧ください。(英語)
[CDP Technical Note on Water Accounting](#)



CDP水セキュリティ質問書:W6 ガバナンス

W6. 1

貴社には水に関する企業方針がありますか。

W6. 2

貴社内では、水関連問題について取締役会レベルの監督が実施されていますか。

W6. 4

水関連問題の管理に関して、経営幹部レベル役員または取締役にインセンティブを付与していますか。

W6. 4

貴社には、水関連の問題に精通した取締役が少なくとも1名いますか。

W6.5

貴社では、水に関する公共政策に直接的または間接的に影響を及ぼしうる活動に関与していますか。

政策立案者との直接的な協議を通じて、業界団体を通じて、
研究機関への資金提供を通じて 等



CDP水セキュリティ質問書:W7 事業戦略

W7. 1

水関連問題は、貴社の長期的・戦略的事業計画のいずれかの側面に組み込まれていますか。組み込まれている場合はその詳細。

W7. 3

貴社では、気候関連シナリオ分析で得られる情報を事業戦略に利用していますか。

W7. 4

貴社では、水に対しウォータープライシングを実施していますか。

W7. 5

貴社が現在製造や提供をしている製品やサービスの中で、水の影響が少ないものはありますか。



CDP水セキュリティ質問書:W8 目標



W8. 1

水関連の定量的／定性的目標を
どのように設定・モニタリングしているのかの説明

目標の種類	基準年
目標が対象とする範囲	開始年
目標設定の動機	目標年
目標の詳細	目標達成度
定量的測定基準	進捗度合い



CDP水セキュリティ質問書:W9 検証

W9. 1

CDPで情報開示する水関連情報について、外部検証を受けているか。

W9 1a

受けている場合、検証したのはCDP回答におけるどのデータか。
どのような検証基準を用いたか。



水セキュリティAリスト要件

- ▼ リーダーシップポイントの最低閾値スコアを獲得
- ▼ 重要な範囲を報告除外対象に含めていない(W0.6、W0.6a) 除外の背景において(質問W0.6a)、企業は少なくとも、水量および/または水質の影響に関して(すなわち、汚染負荷に関して)、報告した各除外内容の重大さの程度の定性的な指標を示す必要があります。
- ▼ 投資家の要請に対する公開の回答の提出。さらに、企業は多くの確認事項を満たしている必要があります

詳細はスコアリングイントロダクションの資料をご覧ください。



CDP水セキュリティ質問書:用語の定義

◆ 取水(water withdrawal)

企業または工場で使用したすべての水の総量

◆ 表面淡水(fresh surface water)

- ・地下にない表面淡水(雨水や湿地、河川や湖などの水を含む)
- ・氷床や氷河なども含む

◆ 汽水(brackish water)

塩分濃度が比較的高い水(10,000 mg/L以上) (海水は「汽水」に含まれない)

◆ 地下水 再生可能(Groundwater - renewable)

地下にある水で、50年以内に自然から水が補充され、比較的浅いところにある地下水のこと

◆ 地下水 再生不可能(Groundwater - non-renewable)

50年のタイムスケールで自然から水が補充されておらず、比較的深いところにある地下水

◆ 随伴水(Produced water) ※金属・鉱業セクターのみ

- ・石油およびガス貯留槽内の地下に閉じ込められた水が採掘中に地表に出てきたものを指す
- ・たいていはリサイクルされ、関連する工程で使用される

◆ 混入水(Entrained water) ※金属・鉱業セクターのみ

金属・鉱業セクターにおける、原料に含まれる水の量を指す



CDP水セキュリティ質問書:用語の定義



◆ 第三者からの水(Third-Party sources)

- ・都市用水からの水や公的／私営施設からの水、他の機関からの汚染水なども含む

◆ 水不足(Water Scarcity)

- ・淡水資源の量的な不足
- ・水不足は、人が引き起こすものである。すなわち、水不足はある地域における水資源の量に対する人の水消費量に左右される。したがって、水が極めて少ない地域にもかかわらず人による水の消費のない地域は水不足地域ではなく「乾燥」地域であるとみなされる。

◆ 水ストレス(Water Stress)

- ・淡水に対する人と生態系の需要を満たす能力またはその能力の不足
 - ・水ストレスは、水不足と比較してより包括的かつ広範な概念。水ストレスでは、水の利用可能性、水質、水へのアクセスなどの水資源に関連するいくつかの側面について考慮する。水へのアクセスは、とりわけインフラの充足性や水の価格に左右されることが多い。
- ※様々な定義がありますので、貴社で定めた基準を明確にさせていただき、それに沿ってご回答いただくようお願いいたします。

CDP水セキュリティ質問書:用語の定義



◆ 物理的リスク

企業に対して直接または間接的な影響を及ぼすような法律や規制の予期される、または予期されない変更や不確実性によって生じる。

◆ 規制リスク

水ストレスや水不足、洪水、汚染により生じる場合がある。物理的リスクは、生産に対する悪影響または物的資産に対する損害を引き起こす。

◆ 評判リスク

訴訟による影響、消費者行動の変化による製品リスク、投資家、消費者および現在／将来の従業員の企業に関する意思決定に影響を及ぼす可能性のあるリスク

CDP水セキュリティ質問書:用語の定義



◆ 取水量

- ・用途を問わず、あらゆる水源(地上水、地下水、臼井、地方自治体の水道など)から報告組織のバウンダリへ取水された総量(GRIガイドラインにおける定義)
- ・直接取水した水と仲介者が取水した水が含まれる

◆ 水消費量

- ・使用され、元の取水源に戻されない水の量(Ceres Aqua Gauge における定義)
- ・蒸発した水、発散した水、製品、作物、廃棄物の一部となった水、人や家畜に消費された水、そのほかの方法で水源から除去された水が含まれる
- ・消費してしまい、水源から除去された水の量

その他の用語の定義については[回答ガイダンス](#)をご覧ください。

活用できるツール例一覧



水リスク評価ツール

- ▶ WWF Water Risk Filter
- ▶ WRI Aqueduct

その他、レポートでのコラム等も必要に応じてご参照ください。

- ▶ CDP 水セキュリティ レポート 2020:日本

コラム内容:ウォーターシュワードシップ、インターナルウォータープライシング

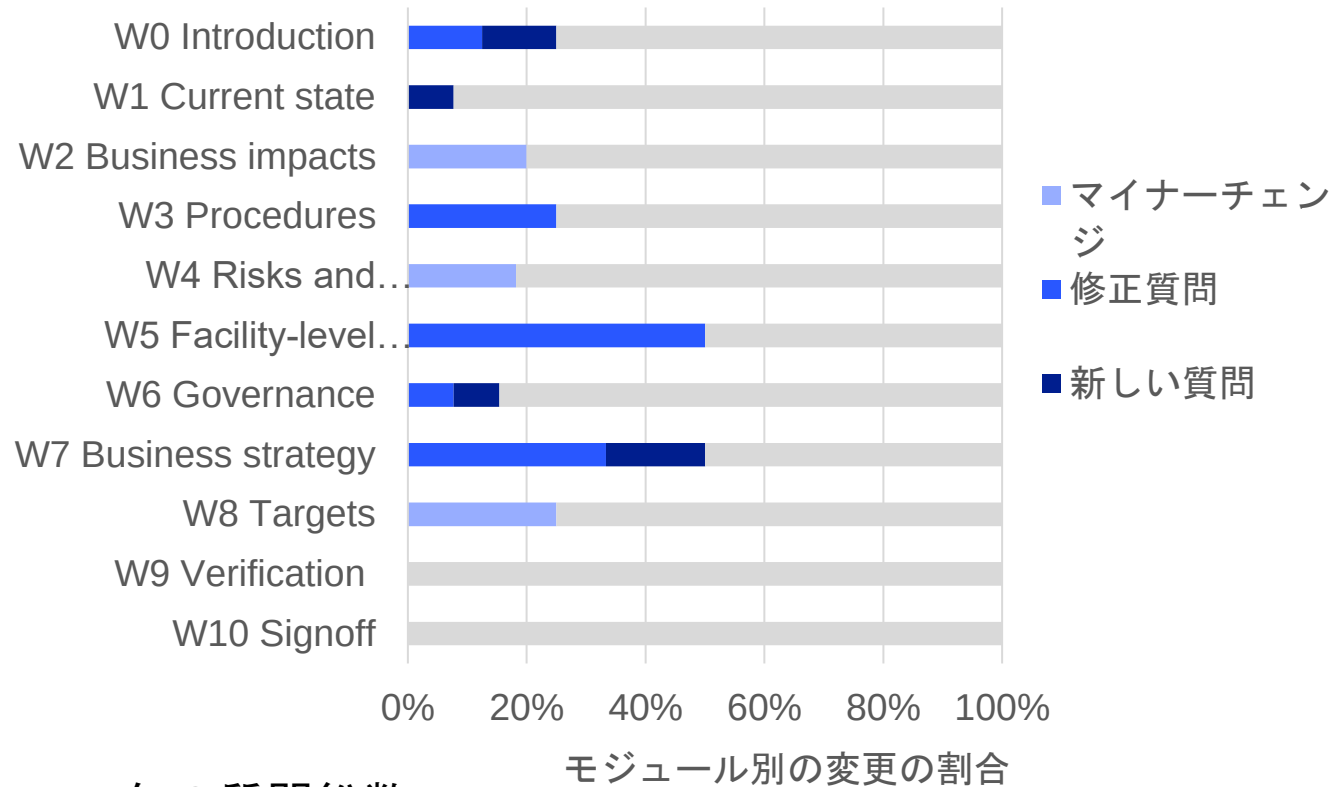
- ▶ CDP 水セキュリティ レポート 2021:日本版

コラム内容:ますます望まれる水セキュリティの情報開示



2021年からの変更点の概要

モジュール別の変更点



- 質問書の87%が「変更なし」または「マイナーチェンジ」
- 4つの新規設問
- 3つの設問を削除
- 6つの設問を修正
- セクター固有の新規/修正設問は無し

2022年の質問総数 **71**

(セクター別質問とサプライチェーンモジュールを除く)

※変更点の詳細は[概要資料\(日本語\)](#)及び[詳細資料\(英語\)](#)をご覧ください。
※モジュール別の詳細は別途用意の詳細編ウェビナーをご覧ください。



CDP2022年回答のスケジュール

※公開時期などについては今後変更となる可能性があります



1月

- ・ 2022年質問書・ガイダンスの公表

3月14日の週

- ・ 2022年スコアリング基準の公表
- ・ 正式な回答要請レターの送付

4月11日の週

- ・ 2022年オンライン回答システム (ORS)のオープン

3～6月

- ・ ライブウェビナーの開催
／オンデマンドウェビナーの公開
- ・ 資料の日本語版公開(4月末-5月頃)

7月27日

- ・ 回答の提出×切 ※期日後に提出された回答は評価対象外となります。

秋

- ・ 回答の公開 ※要請元に回答が提供されます。

冬

- ・ スコアの公表



CDPが提供している主な資料(リンク集)

- ▼ よくあるご質問(FAQ)
- ▼ 回答ダッシュボード使用方法(アカウントの作成など)
- ▼ オンライン回答システム使用方法
- ▼ スコアリングイントロダクション
- ▼ 気候変動・水セキュリティ・フォレスト質問書
- ▼ 各質問書に関するガイダンス資料・スコアリング基準
- ▼ 各質問書に関するウェビナー(動画・資料)
- ▼ 各質問書の前年からの変更点
- ▼ 公開されている他社回答へのアクセス
- ▼ 日本語版気候変動・水セキュリティ・フォレスト報告書
- ▼ CDPジャパンが開催するセミナー情報(過去の録画・資料含む)

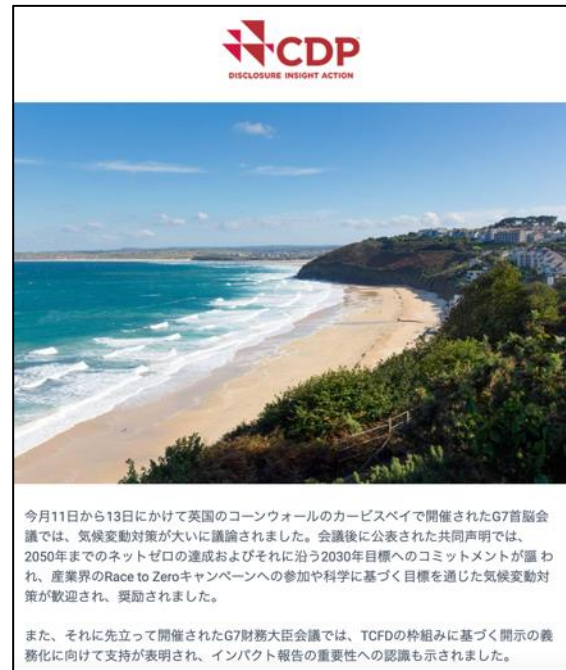


CDPニュースレターのご案内



CDPジャパンでは、ニュースレターの配信を行っております。ウェビナーやシンポジウム、レポートに関する最新の情報を提供しておりますので、ぜひご登録ください。

ご登録フォーム





CDP Worldwide-Japan

Address: 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



Tel: +81 (0)3 6225 2232



www.cdp.net/ja/japan(日本語サイト)



問い合わせ先代表: japan@cdp.net

SBT

RE100

CDPレポーターサービス

CDPサプライチェーンプログラム

メディア関係

回答事務費用の原本発行依頼

sbt.japan@cdp.net

re100.japan@cdp.net

reporterservices.japan@cdp.net

supplychain.japan@cdp.net

press.japan@cdp.net

accounts.japan@cdp.net

